

## 南アフリカ観光局のシサ・ンショーナ CEO による 観光のリスク評価に対する声明

2020年5月14日

南アフリカでは全国的都市封鎖（ロックダウン）措置の解除を5段階で進めていくリスク調整戦略が遂行されている。そしてシリル・ラマポーザ大統領は5月末までには、ほとんどの地域で現在の警戒レベル4から3へと引き下げる計画を表明した。大統領は5月13日夜の国民向け演説の中で、新型コロナウイルスの感染を封じ込めるにはロックダウン措置を継続する必要があることを改めて強調した。

またラマポーザ大統領は、南アフリカにおける感染者数は向こう数ヶ月間にわたって増え続けるという現時点での予想を伝えている。事実、ズウェリ・ムキゼ保健相が感染者数のピークは9月になるとの見通しを示している。政府は健康衛生分野の専門家や疫学者からのアドバイスの下で対応を続けているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大は南アフリカ、そして世界がかつて経験したことのない危機をもたらしている。

リスク調整戦略では現在、観光業は一部での業務再開を警戒レベル2、ほとんどはレベル1に下がるまで制限を解除しないと定めている。期間やタイミングなどを含めた警戒レベルの変動は感染状況の推移によって判断されることから、再開に向けて描くシナリオは流動的な要因によって左右されるものにならざるを得ない。しかし、適正な計画を実行に移すことによって、観光セクターは観光客および従業員の安全を確保するための対策とともに、より早い段階で営業を再開できると確信している。

観光セクターでは現在、リスクの排除を念頭に置いた健康衛生および業務分野での規定を取りまとめる作業が進められており、政府認可が得られればより早い観光復興に向けての道が開かれる。業界内での協議プロセスはすでに進行中で、近々に正式な政府認可申請が予定されている。

南アフリカ政府の感染拡大防止（警戒レベルを含む）に向けた政策決定に際しては、シリル・ラマポーザ大統領が議長を務めるコロナウイルス国家対策本部が中心的役割を担うとともに、感染拡大による影響への対応を進めている。

また今後は、感染の拡大が見られる各地域の“ホットスポット”を特定し、感染を抑え込むまでの間は特定地域における観光活動を差し控えるとともに、適切な安全確認を終えたうえで観光の再開を支援するための取り組みにも着手する。

政府による迅速かつ断固たる措置が取られなかった場合の感染の広がりについて、様々な推測が流れているが、より多くのデータが得られるにつれて、これらの推測は精度の高いものへと更新されていくことになる。従って、これら全てのシナリオは毎日の感染の経過につれて刻々と変わっていくものであると認識しておくことが極めて重要である。シナリオや予測には継続的な見直しと変更が加えられていく。

我々は業界パートナー全員の継続的支援に深く感謝するとともに、旅行に課された規制の撤廃と国境封鎖の解除に対する願いを共有しながら、引き続きコミュニケーションを図っていく所存だ。

雄大な自然、ワールドクラスのワイン、類のない食事、豊かな伝統と歴史、多様な文化といった南アフリカの魅力を楽しみたいという旅行者の期待には励まされるばかりだ。

安全に旅行が楽しめるようになった際に、南アフリカは制限の枠から解放された人々にふさわしい旅行先になることを確信している。

---

本件に関するお問い合わせは：

南アフリカ観光局 近藤由佳 ([kondo@southafricantourism.or.jp](mailto:kondo@southafricantourism.or.jp))

Tel: (03) 3478-7601